

令和6年度 6学年「国語科」シラバス

学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指します。日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養うとともに、自分の思いや考えを広げることができるようにします。また、言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養います。

評価の観点

| 評価の観点 | 評価規準 |
|---------------|--|
| 知識・技能 | 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。 |
| 思考・判断・表現 | 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、進んで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。 |

評価の方法

国語の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○発言、発表 ○音読・朗読 ○单元テスト ○小テスト
○ワークシート ○作文 ○ノート ○提出物

令和6年度 6学年「算数科」シラバス

学習の目標

数学的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、日常の事象について数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を育てます。

分数のかけ算やわり算、円の面積、拡大・縮小、比例・反比例、文字を用いた式などについて学習します。

評価の観点

| 評価の観点 | 評価規準 |
|---------------|---|
| 知識・技能 | 分数の計算の意味、文字を用いた式、図形の意味、図形の体積、比例、度数分布を表す表などについて理解している。 分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けている。 |
| 思考・判断・表現 | 数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力、身の回りの事象から設定した問題について、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりする力などを身に付けている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。 |

評価の方法

算数の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○発言、発表 ○単元テスト ○小テスト
○ワークシート ○ドリル ○ノート ○提出物

令和6年度 6学年「社会」シラバス

学習の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指します。

我が国の政治の働きについて、日本国憲法の基本的な考え方や立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを学びます。歴史では、縄文時代から江戸時代について取り上げ、幕府の仕組みや政治や人々の暮らしなどを学び、近代国家への成り立ちにつなげていきます。

評価の観点

| 評価の観点 | 評価規準 |
|---------------|--|
| 知識・技能 | 我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解しているとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめている。 |
| 思考・判断・表現 | 我が国の政治と歴史及び国際理解に関する社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 我が国の政治と歴史及び国際理解に関する社会的事象について、我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情をもち平和を願い世界の国々の人々と共に生きることを大切にする国家及び社会の将来の担い手として、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。 |

評価の方法

社会の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○発言、発表 ○単元テスト ○小テスト
○ワークシート ○ノート ○提出物

令和6年度 6学年「理科」シラバス

学習の目標

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成することを目指します。

燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性、電気の性質や働き、生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化及び月の形の見え方と太陽との位置関係について学びます。

評価の観点

| 評価の観点 | 評価規準 |
|---------------|---|
| 知識・技能 | 燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性、電気の性質や働き、生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化及び月の形の見え方と太陽との位置関係について理解しているとともに、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 |
| 思考・判断・表現 | 燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性、電気の性質や働き、生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化及び月の形の見え方と太陽との位置関係について観察、実験などを行い、主にそれらの仕組みや性質、規則性、働き、関わり、変化及び関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性、電気の性質や働き、生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化及び月の形の見え方と太陽との位置関係についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしているとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 |

評価の方法

理科の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○観察・実験中の技能 ○発言、発表 ○単元テスト ○小テスト
○ワークシート ○ノート ○提出物 ○観察カード